

# 専門科目医療相談ータイ(2016/2/12-16) バンコク、シラチャ

## 1) タイ医療巡回を実施(2/12-16)

今年度の最後となる医療巡回第7弾はタイで2月12日から16日まで実施した。タイの在留邦人数は約6万5千人(外務省海外在留邦人数調査統計H27年)で、米中豪英に次ぎ第5位。その内首都バンコクには1960年代の高度経済成長前後からさまざまな業種の日本企業が進出し、現在約3万人の日本人が滞在している。また、バンコクから海沿いに約100キロ南東にあるシラチャは、1990年以降周辺工業地帯における日本企業の進出により、世界でも有数の日本人街として成長。現在4,800人の日本人が登録されているが、実際は約8千人の日本人がいるといわれている。

JOMFはバンコクで小児科講演会と小児科・歯科相談会、シラチャではオイスカシラチャ幼稚園で歯科健診、シラチャ日本人学校で歯科相談会と歯科授業を実施した。



## タイ医療巡回実績

都市	主催・場所	スケジュール	医師	参加者数	
バンコク (2/12, 13, 14)	タイ国日本人会 (於、サミティバート病院)	歯科相談会	田中先生、萩原先生	117	
		小児科相談会	榊原先生、元田先生	55	
		小児科講演会	榊原先生	53	
シラチャ (2/15, 16)	オイスカシラチャ日本語幼稚園	歯科健診(2/15)	田中先生、萩原先生、吉津先生	85	
		シラチャ日本人学校	歯科相談会(2/15, 16)	田中先生、萩原先生、(吉津先生)	33
		歯科授業(2/16)	2年生 3年生	萩原先生、(田中先生、吉津先生) 田中先生、(萩原先生、田中先生)	(55) (56)

## 2) バンコク タイ国日本人会

### 小児科講演会(2/12)、歯科相談会・小児科相談会(2/12, 13, 14)

- ・バンコクの講演会と相談会はタイ国日本人会(レヌカー・ムシカシントン厚生部長)の主催で行われた。担当くださったのは、タイ国日本人会の磯田博之事務局長と歯科・小児科相談ボランティアの菅沼美樹さん。[タイ国日本人会 <http://www.jat.or.th/>]
- ・会場となったのは、患者の20%が日本人というサミティバート病院(日本人部 松尾部長)。
- ・小児科の子育て講演会では、榊原先生が「発達障害とわがままの見極め・指導法」について講演。
- ・小児科相談会は、榊原先生と元田先生、歯科相談会は、田中先生と萩原先生が担当。
- ・講演会、相談会受付や受入れの準備は歯科・小児科相談ボランティアの方々15名が土日を返上して分担・対応くださった。

参加者合計 343名



会場となったサミティバート病院



榊原先生の子育て講演会



萩原先生



田中先生



小児科の榊原先生と元田先生



タイ国日本人会レヌカー厚生部長



歯科・小児科ボランティアのみなさんに、準備から受付までご担当いただきました。

## 3) シラチャ オイスカシラチャ日本語幼稚園 歯科健診(2/15)

- ・シラチャでは、2月15日(月)午前、オイスカシラチャ日本語幼稚園(理事長 黒田祐之進)で田中先生、萩原先生に吉津智恵先生が加わり、歯科健診を実施。
- ・受入れを担当いただいたのは、喜屋武正江事務長。当日は、副園長の津村記三夫先生が各担任先生等とともに園児を引率くださった。
- ・年長、年中、年少、最年少の全6クラス(全92名)で85名が健診を受けた。



萩原先生



田中先生



吉津先生



萩原先生



田中先生



オイスカシラチャ日本語幼稚園

### 4) シラチャ 日本人学校

#### 歯科相談会(2/15, 16)、歯科授業(2/16)

- ・シラチャの2月15日(月)午後と16日(火)は、泰日協会学校シラチャ校[シラチャ日本人学校] (校長 神田 進 先生)で在校生とならびに保護者を対象に歯科相談会を実施した。
- ・また、2月16日(火)には、2年生(55人)と3年生(56人)を対象に、保健授業で萩原先生と田中先生が歯みがき指導を行った。[シラチャ日本人学校 <http://www.tjas.ac.th/sriracha/index.php> ]
- ・受入れ準備を担当くださったのは、健康管理室の岡部律子 先生。



田中先生 萩原先生



歯みがき教室



岡部先生(右から2番目)と歯科巡回チーム



3年生担任の  
中川先生(左)と菊原先生

### 5) 医療巡回医師プロフィール



【榊原洋一 先生】  
お茶の水女子大学副学長。医学博士。東京大学医学部卒 小児科医。  
CRN(チャイルド・リサーチ・ネット)所長。日本子ども学会理事長。  
専門: 小児神経学、発達神経学、特に注意欠陥多動性障害、アスペルガー症候群などの発達障害の臨床と脳科学。  
主な著書:「多動性障害児」(講談社+α新書)、「アスペルガー症候群と学習障害」(講談社+α新書)、「ADHDの医学」(学研)など。

#### 【元田玲奈 先生】

1996年 東京大学医学部医学科卒業  
東京大学医学部附属病院、千葉西総合病院、鹿児島県徳之島徳洲会病院  
Institute of Molecular and Cell Biology、虎の門病院 を経て  
現在 シンガポールの日系クリニック副院長



#### 【田中健一 先生】

東京医科歯科大学歯学部 卒業  
国際協力事業団(JICA) 派遣専門家(ブラジル)  
1999年 北京天衛診療所 医療顧問  
2004年 西埼玉中央病院  
2011 東北復興プロジェクト 埼玉医療チーム代表

#### 【萩原麻美 先生】

社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院 歯科診療科長  
歯科医師 博士(歯学)、日本障害者歯科学会指導医  
1993年～ 株式会社日本興行銀行(現みずほ銀行)健康管理センター 嘱託医  
1996年～ 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員  
1998年 社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院 歯科  
2006年よりマレーシア、タイ、ドイツ、フランスにてJOMFの海外専門医療巡回に協力

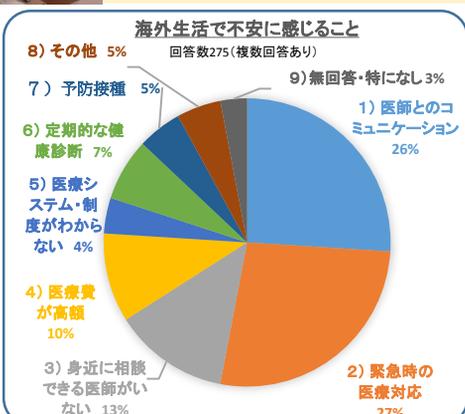


#### 【吉津智慧 先生】

2015年 東京医科歯科大学 歯学部口腔保健学科卒業  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科  
医歯理工学専攻 口腔疾患予防学分野

### 7) タイ医療事情

バンコクとシラチャの相談会に参加された方々へ、現地の医療事情についてアンケートを実施。タイ(バンコク、シラチャ)における医療面での懸念事項は、1位-緊急時の医療対応(27%)と 2位-医師とのコミュニケーション(26%)が拮抗、次いで3位が身近に相談できる医師がいない(13%)だった。  
※詳しい調査結果は別途HPで報告の予定



#### JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で3か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の主要地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、医療支援事業を行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業医をサポートする講演会、セミナー等を開催している。  
JOMF活用ガイド:  
<http://www.jomf.or.jp/pdf/guide.pdf>